

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 11-196163

(43)Date of publication of application : 21.07.1999

(51)Int.Cl. H04M 1/02  
H04B 1/38  
H04Q 7/32

(21)Application number : 09-360206

(71)Applicant : USUI RYUICHI  
SHIMADA MASAO

(22)Date of filing : 26.12.1997

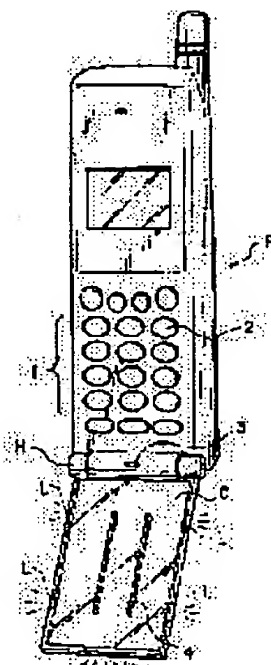
(72)Inventor : USUI RYUICHI  
SHIMADA MASAO

## (54) PORTABLE TELEPHONE SET WITH PROTECTION COVER FOR OPERATION PART

## (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To prevent buttons of an operation part of a portable telephone set from being pressed by mistake when it is put in and out of a bag or pocket by providing at a lengthwise end part of the portable telephone set main body a protection cover which is coupled with a portable telephone set main body in a freely opening/closing state with a hinge and which covers the operation part of the portable telephone set main body when closed.

SOLUTION: A protection cover C is formed of the same material as a portable telephone set body P, e.g. plastic and fitted to the lengthwise end part of the portable telephone main body P in the free opening/closing state through a hinge H. At the edge part inside the protection cover C, light emission bodies L of a plurality of LEDs are mounted mutually at proper intervals to provide a good appearance as an article. Consequently, the protection cover C can be closed after use, so that push buttons 2 are hidden and prevented from being pressed by mistake during carriage or storage; and as the light emission bodies L are provided, appearance as the article is made more attractive.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision  
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's  
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japanese Patent Office

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-196163<sup>✓</sup>

(43) 公開日 平成11年(1999) 7 月21日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>

識別記号

F I

H 0 4 M 1/02

H 0 4 M 1/02

C

H 0 4 B 1/38

H 0 4 B 1/38

H 0 4 Q 7/32

7/26

V

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願平9-360206

(22) 出願日 平成9年(1997)12月26日

(71) 出願人 591221673

白井 隆一

埼玉県蕨市北町2丁目4番14号

(71) 出願人 397072525

島田 正雄

埼玉県鳩ヶ谷市桜町4-1-29

(72) 発明者 白井 隆一

埼玉県蕨市北町2-4-14

(72) 発明者 島田 正雄

埼玉県鳩ヶ谷市桜町4-1-29

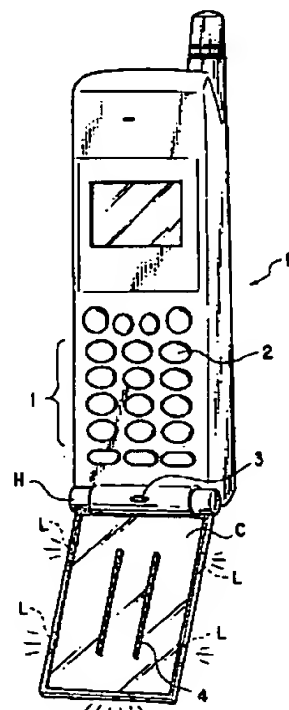
(74) 代理人 弁理士 橋 哲男

(54) 【発明の名称】 操作部保護カバー付き携帯電話機

(57) 【要約】

【課題】 携帯電話は小型化が技術的に可能となり従来にまして携帯性が向上した。このために、携帯電話を鞆やポケットから出し入れする際に携帯電話の操作部のボタンを誤って押してしまう欠点があった。

【解決手段】 そこで携帯電話の非使用時には操作部を誤動作しないように、本発明の手段は携帯電話本体と、該本体に開閉自在にヒンジ結合され閉じたとき本体の操作部を覆い本体に固定される保護カバーを有することを要旨とする。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 携帯電話機本体と、該携帯電話機本体に開閉自在にヒンジ結合され閉じたとき本体の操作部を覆い本体に固定される保護カバーを有することを特徴とする操作部保護カバー付き携帯電話機。

【請求項2】 前記保護カバーは本体長手方向端部に取り付けたことを特徴とする操作部保護カバー付き携帯電話機。

【請求項3】 前記保護カバーは全体が透明で縁部に発光手段を設けたことを特徴とする請求項1に記載の操作部保護カバー付き携帯電話機。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯電話機に関するもので、さらに詳しくは、その操作部を覆うための蓋を設けた操作部保護カバー付き携帯電話機に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】近時、通信の規制撤廃と携帯電話機の普及に伴い携帯電話機本体に様々なデザイン的な工夫が施されるようになった。それに加えて小型化が技術的に可能となり携帯性が向上した。

## 【0003】

【発明が解決しようとしている課題】このために、一方では様々な不具合が顕在化することになった。例えば、携帯電話を鞆やポケットから出し入れする際に携帯電話機の操作部のボタンを誤って押してしまうこともしばしばであった。

【0004】本発明は、この事情を考慮のうえ携帯電話の非使用時には操作部を誤動作しないという工夫を施した携帯電話機を提供することを目的とする。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】前述した目的を達成するために、本発明の手段は携帯電話機本体と、該携帯電話機本体に開閉自在にヒンジ結合され閉じたとき本体の操作部を覆い本体に固定される蓋を有することを要旨とする。

【0006】前記保護カバーは本体長手方向端部に取り付けるのが望ましく、また、前記蓋は全体が透明で縁部に発光手段を設けるのが望ましい。

## 【0007】

【発明の実施の形態】図1は、本発明の携帯電話機本体Pの斜視図で携帯電話機本体に対して保護カバーCが閉じた状態を示している。前記保護カバーCは、携帯電話機本体Pと同様の材質、例えば、プラスチックで形成されたものを使用し本体Pの長手方向の端部にヒンジHを介して枢着されている。

【0008】図1に示す閉じた状態では保護カバーCはスナップアクション等で本体Pに固定しているが、開くと図2に示すように長手方向に展開する。そして、前記保護カバーCは、その内側の縁部に複数のLEDの発光体Lが互いに適宜な間隔をもって設けられており、電話機内部の回路からヒンジHを介して光の屈折を応用した公知の手段で光が導かれて前記発光体Lで発光して商品としてのファッション性を高めている。

【0009】なお、本体Pにおいて1は通話情報等の表示部、2は操作部のプッシュボタン、3はマイク、保護カバーCにおいては、4は補強材である。前記LED発光体Lは、複数が間隔を持って設けられているが、一つの部材が保護カバーCの内側の縁部の全体にわたり延長していてもよい。

【0010】また、保護カバーは本体Pの長手方向にヒンジ結合しているが、本発明においてはこれに限定されことなく、本体Pの側部にヒンジ結合されていてもよい。また、複数の発光体Lが保護カバーの内側の縁部に設けられているが単一の発光体が縁部全体を囲繞するように設けられていてもよい。

## 【0011】

【発明の効果】本発明の操作部保護カバー付き携帯電話機は、手段として携帯電話機本体と、該本体の長手方向端部に開閉自在にヒンジ結合され閉じたとき本体の操作部を覆い本体に固定される蓋からなるので使用を終えた後は保護カバーを閉じることが出来るので操作部が隠れて携帯や収納作業中にプッシュボタン等を誤って押すことがない。

【0012】また、請求項2に記載のように前記カバーは全体が透明で縁部に発光手段を設けたので商品としてファッション性が高くなりより購買意欲を刺激する効果がある。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】は本発明の操作部保護カバー付き携帯電話の斜視図で保護カバーを閉じた状態をしめすものである。

【図2】は図1の携帯電話の保護カバーを開いた状態を示す斜視図である。

## 【符号の説明】

P	携帯電話本体
C	保護カバー
H	ヒンジ
L	発光体
1	表示部
2	プッシュボタン
3	マイク
4	補強材

【图 2】

